(六) おまもり、をびや許し、御供下附について

◎ 受 付

毎日朝つとめ後から夕つとめ迄の間に、願書（直属教会又は信者詰所で世話取り）を持って教祖殿御守所に願ひ出ること。

(1) おまもり

おぢばへ帰つて本人が直接願ひ出ること。

十五歳未満の子供のおまもりは、両親又は親に該当する者（祖父母、兄姉、教会長、布教所長）が付き添うこと。本人不参の際は、両親であれば代つて戴くことが出来る。

(2) をびや許し

をびや許しは妊娠六カ月目から戴ける。妊婦の代理は、夫、嫁ぎ先の親、実家の親に限る。

(3) 御 供（ごく）

教会への下附は、直属教会から願書を持って教祖殿御守所に願ひ出ること。